

# 峯みねのたより

私たちのお寺、長泉寺の会報誌。

新装刊

011号

2016年4月15日発行  
(平成28年4月15日)

〒981-1505  
宮城県角田市角田字長泉寺69番地  
電話 0224(62)1004  
FAX 0224(63)0063  
http://www.chousenji.jp/

曹洞宗 長泉寺  
六国峯

峯のたより第11号をお届けいたします。本来は昨年中に皆様にお届けする予定で作業を進めておりましたが、諸事に忙殺され、この時期になりましたことをお詫び申し上げます。

今号の便りは、今年度より長泉寺護持会責任役員長を務められる鈴木俊輔氏並びに退任された鈴木欽次郎氏からのご挨拶を中心に編集しております。

なお、今後はお寺からのお知らせ等を遅滞なく檀信徒の皆様へお届け出来るよう努力してまいります。また、長泉寺住職からのご挨拶を巻末に掲載させていただきます。

## 新任のご挨拶

長泉寺責任役員長  
鈴木 俊輔

今年度より鈴木欽次郎前会長の後を受け、長泉寺責任役員長を拝命いたしました鈴木俊輔と申します。私は盛岡市に住んでおり、周辺は寺町通りと言われ数十の寺院が建ち並んでいます。長泉寺ほどの荘厳で格式のある寺院はありません。特に7年前に日本一の宮大工小川三夫棟梁により建立された本堂は、東北の名刹長泉寺にふさわしく、子々孫々にも誇れるものと思っております。これも偏に方丈様の大変なご英断とご努力、そして長泉寺檀信徒の皆様方の総力の賜物であると確信しております。

また方丈様は本堂落慶を機に、寺院での通常業務はもとより、長泉寺の隆興のため、師家養成所で

の長期に渡る研修、宗立専門僧堂での開単、大本山総持寺での焼香師など大変な功績を挙げられております。そして現在も臨床仏教師の資格を取得するため、東京の大学で講義を受けられるなど多忙な日々を送られており、そのご活躍には感服いたす次第です。

さて全国的に寺院での葬儀が減少傾向にあります。長泉寺では費用面などの方丈様の格別な計らいもあり、最近では増加しているとの事です。凜とした厳粛な本堂の空間で、御本尊に見守られながらお勤めしていただく葬儀は格別なものと考えます。より多くの檀家の皆様にご利用いただき、奈良法隆寺の正當な流れを汲む私たちの本堂が、更なる歴史と伝統を築いていくことを希望いたします。

最後に、長泉寺が我々の将来の安住処となり、子孫にとつても心の落ち着く場所であり続けることを祈念し、方丈様はじめ皆様方のご協力を仰ぎながら、長泉寺の護持に努める所存であります。

引き続き長泉寺ならびに護持会へのご支援ご鞭撻をお願いいたします。まして新任のあいさつとさせていただきます。

(盛岡市・鈴木こう門科  
クリニック院長)

## 退任のご挨拶

前長泉寺責任役員長  
鈴木 欽次郎

私は昭和38年から今まで、53年間長泉寺のお世話役(世話人、総代、責任役員など)をさせていただきました。私の家では、祖父の時代から長泉寺のお世話役をさせていただいたので、方丈さんをはじめ多くのお坊さんとお会いする機会がありました。すべての役を退くにあたり、いろいろなことが懐かしく思い出されます。その中からいくつかを書いてみたいと思います。

お坊さんと一緒に、各地の話をしながら毎年正月近くになると、「月牌集め」という年中行事がありました。地藏堂の檀家を一軒一軒訪ねて月牌(お米)を頂きました。月牌を入れた袋を担いで、お坊さんと一緒に歩きながら、お坊さんの出身地などの珍しいお話を聞くのは楽しいものであります。ほとんどのお坊さんのお名前もお顔も忘れてしまいました。が、楽しかったという記憶だけが残っています。「がっぱい」というのは月に一杯(四分の一升)ずつ、先祖の供養をして頂くために、お寺にお願いするお米の事をいうのだと、



聞いておりましたが、現在はお金でお願いするようになりまして、各地方出身のお坊さんとお会いする機会が少なくなりました。高齢になったことも手伝って、あの時代のことをとても懐かしく思い出している昨今であります。

先代の奥野泰弘方丈さんは、「この家でも、誰でも、独自のいいものがある」とおっしゃっていたことが忘れられません。

平成10年には、その泰弘方丈さんが導師となられ、奥野成賢様のご子息成教様の得度式が執り行われました。泰弘方丈様は誠に残念なことになられた。平成14年5月に遷化なされ、翌15年5月には成賢様が住職（方丈様）になられる晋山式が挙行され、安下処に見立てた本町の三文字郎を出発した行列が長泉寺本堂に到着するまでの行列は、正に時代絵巻そのものを見ていたような光景だったと記憶しています。

潤む目で  
南無釈迦牟尼仏と本師様  
中一の得度者の  
合掌がいじらしい  
わが寺は

盤石なりと漏れる声

平成20年9月18日には新本堂の落慶式が行われました。成賢方丈さんの「私たちの心が子々孫々にまで大切に受け継がれる本堂にしたい」という思いで、当代随一の宮大工小川三夫氏（鱒工房舎）に



依頼した素晴らしい本堂です。小川氏がNHKに出演し長泉寺を紹介しているのを見て、誇らしい気持ちになったことを思い出します。

成賢方丈さんは、平成19年9月から1年に90日4年間、大本山永平寺や總持寺で厳しい坐禅を中心とした修行をなさって、長泉寺がお坊さんの修行をさせることの出来るお寺になりました。東北地方では長泉寺だけと伺っており

ます。峯のたよりに「本堂だけが立派に出来上がっても中身がない



がらん堂では笑われる」と書いておられたことが印象に残っています。

平成25年には、長泉寺で宗立専門僧堂が開かれ、修行をされる外国人のお坊さんとその指導のため曹洞宗の高名なお坊さんが長泉寺に滞在をなさいました。3ヶ月の間、托鉢や清掃奉仕をなさっている外国人のお坊さんを町中で見かけ、角田も国際的になったなあと思えました。檀家のあるお寺では初めてのことであったと聞きました。

私達の菩提寺長泉寺の今後益々の発展を心よりご祈念申し上げます。

53年間お世話になりました。これからもよろしくお願ひ申し上げます。

(角田市小田・在住)

### 今年度の行事予定

1月3日	新年大般若祈祷会
1月7日	人日諷経（歳徳諷経）
1月13日	厄払い・願い事祈願ご祈祷会
1月27日～2月2日	冬の座禅会
1月30日	節分追儺会
2月15日	涅槃会
3月17日～23日	春彼岸会
4月8日	花まつり（釈尊降誕会）
5月中旬頃	観音講
8月上旬～	施食会（お盆供養）
8月11日	新盆供養
9月中旬頃	観月諷経
9月20日～26日	秋彼岸会
12月8日	成道会
12月31日	除夜の鐘

毎週日曜日…午後5時～ 坐禅会（坐禅後に法話、茶話会あり）  
毎月1日と15日…朝6時～ お経を読む会



## 長泉寺の朝

禅宗のお寺ではまず起きて坐禅です。その坐禅をする前に、行香と言って諸堂にお祈りする仏様にお線香をあげてご挨拶をし、そして最後に坐禅堂に入り、文殊様（聖僧様）にお香をお供えして、坐禅をさせていただきます。「行」を勤めています。

そこで長泉寺では毎朝どのようなして、行香をしているかを今日はご紹介致します。

まず最初に護法韋駄尊天さん。



俗に言う韋駄天さんとは仏法伽藍守護の仏様です。かまど（竈）もお護りをいたしますので火消装束のような鎧を着た勇ましい格好をした仏様です。続きましておトイレですね「東司

（とうす）」と呼ばれています。

東司の仏様、烏枢沙摩明王様にご挨拶をします。

数年前に「トイレの神様」という

歌が流行りましたが、いわばこれはトイレの仏様ということですね。



その次に御開山様・開山堂に赴き長泉寺を開かれた即庵宗覚禅師様その他歴代のご住職様に上香三拝してご挨拶をします。



そしてご本堂にまいります。

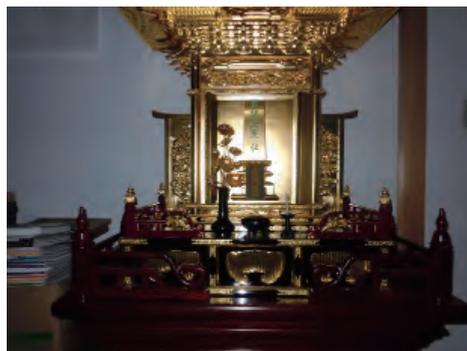


そこで上香三拝をし、それから坐禅堂に入り文殊様にまた上香三拝してよいよ坐禅となります。



で、朝5時40分に坐禅が放禅いたします。

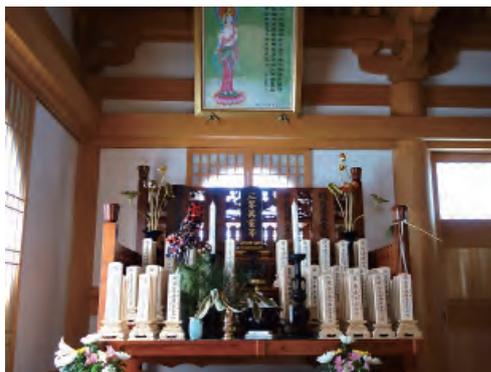
一人のお坊さんは6時の梵鐘を撞きに参り、残った私が朝のお勤め、いわゆる朝課（読経）をいたします。朝課がすんだら、「戦没者慰霊塔」



そして伊具地区三十三観音の一つ（第31番）である「十一面観世音菩薩」（二体は伝来のもの、もう一体は篤信の神尾様からご寄進賜った十一面観世音菩薩）にお参りをいたします。



その次に、本年中に亡くなられた方々の白木のご位牌が並んでいる新亡精霊の位牌壇。



戻って、今度は玄関のところにあるもう一体の韋駄天様に参り、「般若心経」をお唱えして今日一日の無事をお祈りいたします。



最後に丈室と言って住職の部屋ですが、そこにもお仏壇(内仏)がありますのでお線香を立て三拝し、読経をいたします。



以上が大凡毎朝の流れです。

このような毎朝のお寺の生活は、他人様から見ればせわしなく面倒な事かもしれませんが、私どもにとってはそれが身についた日々の生活になっており何の不自由も感じていません。朝4時50分起床、6時40分頃までの長泉寺の日常です。ありがとうございます。

(このエッセイは昨年一月に当院のホームページに掲載されました。)

### 長泉寺の現在を伝えるホームページ

私たちのお寺・長泉寺は、檀信徒の皆様はもとより、地域の文化拠点として、より多くの方々に親しんでいただける「開かれたお寺」を目指しています。

その一環として、一昨年それまでのホームページを一新しました。長泉寺の最新情報や長泉寺の四季折々の表情をお届けしています。

スマートフォンやタブレットにも対応していますので是非ご覧ください。



<http://www.chousenji.jp/>

## 年回表(平成28年)

一周忌	平成27年(2015年)・・・(忌日：亡くってから2年目/1年後)
三回忌	平成26年(2014年)・・・(忌日：亡くってから3年目/2年後)
七回忌	平成22年(2010年)・・・(忌日：亡くってから7年目/6年後)
十三回忌	平成16年(2004年)・・・(忌日：亡くってから13年目/12年後)
十七回忌	平成12年(2000年)・・・(忌日：亡くってから17年目/16年後)
二十三回忌	平成6年(1994年)・・・(忌日：亡くってから23年目/22年後)
二十七回忌	平成2年(1990年)・・・(忌日：亡くってから27年目/26年後)
三十三回忌	昭和59年(1984年)・・・(忌日：亡くってから33年目/32年後)
三十七回忌	昭和55年(1980年)・・・(忌日：亡くってから37年目/36年後)
五十回忌	昭和42年(1967年)・・・(忌日：亡くってから50年目/49年後)
百回忌	大正6年(1917年)・・・(忌日：亡くってから100年目/99年後)





皆様に御礼申し上げます。

壇信徒および有縁の皆様方から、たくさんのご喜捨、そしてお志を賜りました。ありがとうございます。平成25年11月22日から27年12月31日までの芳名帳より、項目ごとに五十音順で掲載いたします。

供養料

板橋 末美	泉 久雄	泉 邦広	泉 和夫	石山 容子	石のなごみ	石川 勝俊	石井 芳巳	猪狩 正功	安藤 祐介	粟野 好一	荒木 孝廣	荒木 喜代子	阿部 善正	阿部 平	阿部 昭八	阿部 健夫	安達 けい	阿蘇 祝子	浅見 和枝	浅野 廣	浅野 清光	浅野 喜美	浅川 正純	浅川 俊幸	秋山 和二郎	秋山 源之輔	秋葉 福男	吾妻 武博	赤川 良行	相原 伊寿	板橋 好博	板橋 真由美		
様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様		
遠藤 秋雄	遠藤 秋雄	遠藤 秋雄	遠藤 秋雄	遠藤 秋雄	遠藤 秋雄	遠藤 秋雄	遠藤 秋雄	遠藤 秋雄	遠藤 秋雄	遠藤 秋雄	遠藤 秋雄	遠藤 秋雄	遠藤 秋雄	遠藤 秋雄	遠藤 秋雄	遠藤 秋雄	遠藤 秋雄	遠藤 秋雄	遠藤 秋雄	遠藤 秋雄														
大槻 正人	大槻 正人	大槻 正人	大槻 正人	大槻 正人	大槻 正人	大槻 正人	大槻 正人	大槻 正人	大槻 正人	大槻 正人	大槻 正人	大槻 正人	大槻 正人	大槻 正人	大槻 正人	大槻 正人	大槻 正人	大槻 正人	大槻 正人	大槻 正人														
様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様		
梶村 利江	梶村 利江	梶村 利江	梶村 利江	梶村 利江	梶村 利江	梶村 利江	梶村 利江	梶村 利江	梶村 利江	梶村 利江	梶村 利江	梶村 利江	梶村 利江	梶村 利江	梶村 利江	梶村 利江	梶村 利江	梶村 利江	梶村 利江	梶村 利江														
様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	
溪水寺	溪水寺	溪水寺	溪水寺	溪水寺	溪水寺	溪水寺	溪水寺	溪水寺	溪水寺	溪水寺	溪水寺	溪水寺	溪水寺	溪水寺	溪水寺	溪水寺	溪水寺	溪水寺	溪水寺	溪水寺	溪水寺													
様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	
佐藤 英二	佐藤 英二	佐藤 英二	佐藤 英二	佐藤 英二	佐藤 英二	佐藤 英二	佐藤 英二	佐藤 英二	佐藤 英二	佐藤 英二	佐藤 英二	佐藤 英二	佐藤 英二	佐藤 英二	佐藤 英二	佐藤 英二	佐藤 英二	佐藤 英二	佐藤 英二	佐藤 英二	佐藤 英二													
様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様
清水 義雄	清水 義雄	清水 義雄	清水 義雄	清水 義雄	清水 義雄	清水 義雄	清水 義雄	清水 義雄	清水 義雄	清水 義雄	清水 義雄	清水 義雄	清水 義雄	清水 義雄	清水 義雄	清水 義雄	清水 義雄	清水 義雄	清水 義雄	清水 義雄	清水 義雄													
様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様
高橋 寅治	高橋 寅治	高橋 寅治	高橋 寅治	高橋 寅治	高橋 寅治	高橋 寅治	高橋 寅治	高橋 寅治	高橋 寅治	高橋 寅治	高橋 寅治	高橋 寅治	高橋 寅治	高橋 寅治	高橋 寅治	高橋 寅治	高橋 寅治	高橋 寅治	高橋 寅治	高橋 寅治	高橋 寅治													
様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様
中山 八ナ	中山 八ナ	中山 八ナ	中山 八ナ	中山 八ナ	中山 八ナ	中山 八ナ	中山 八ナ	中山 八ナ	中山 八ナ	中山 八ナ	中山 八ナ	中山 八ナ	中山 八ナ	中山 八ナ	中山 八ナ	中山 八ナ	中山 八ナ	中山 八ナ	中山 八ナ	中山 八ナ	中山 八ナ													
様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様

ここに掲載させていただいた皆様だけでなく、匿名で喜捨をされた方々もいらっしゃいました。また、お一人で何度も喜捨をされた方もたくさんおられますが、同項目内で重複する御芳名は割愛させていただきました。すべての皆様に心より感謝いたします。ありがとうございました。

第11号発行のご挨拶

長泉寺住職  
奥野 成賢

峰のたより第11号をお届けいたします。前号のお届けから大分時間が空いてしまい、お檀家の皆様方にはご迷惑をおかけして心からお詫び申し上げます。

さて今号は紙面を充実してお届けしたつもりです。普段お寺に芳华を寄せていただいた事に心から感謝を申し上げ、皆様方のご期待に応えられる寺院運営に努めてまいりたいと思っております。

ふるさとへの想い

拝啓

陽春の候日差しが春のおとずれを告げる頃となりました。

これからも、せわしい世の中が続くのかも知れませんが、その中にあつて、角田の地は本場にいい町で、人はそれ程思っていないかも知れませんが、わが国に残された桃源郷の一つです。人々が皆信頼しあつて、その上で安心して生活しているのですから……。

仙台圏の南にあつて、一時間も電車に乗れば、都会の生活にもふれることが出来ますし、何も時流に流される必要はないわけです。

平成二十八年三月吉日

泉 久雄 (川崎市在住)

専修大学名誉教授

★★★お知らせ★★★

山門へ車止めを設置しました

昨年9月上旬、山門に車が飛び込むという事故が発生しました。これを受け山門の前に車止めを設置するとともに側

扉へ車がぶつかつた箇所について修理を行いました。

皆様方には交通安全をお願いいたします。



このコーナーでは皆様からのご質問をお待ちしています。どんなことでもお気軽にお訊ねください。

【Q】葬儀後から一周忌までの法事はどのようにいとなむのでしょうか？

【A】法事のことを追善供養とも言います。追善とは、故人の遺した善き言葉や行いを偲び、自らもそれにならうこととです。

また、供養は「お供えし奉る」ことです。ですから、供物を供える物質的な行為だけでなく、精神的な行為も伴っていないと成りません。故人を偲ぶことを通して、遙かな昔から続くご先祖様の命の連なりが自分にも注ぎ込まれていることに気付く、自らを省みてより良い生き方を実践していく契機にしたいものです。一周忌までの法事は左記のように営みますが、そのつどこのような心がけで行ってください。(お問合せが多いので、再度掲載いたしました。)

法要	忌名	亡くなった日から数えて	営み方
初七日	初願忌	七日目	前晩または当日に、僧侶・親族・知人を招き行います。法要とは会食のみをする場ではありません。
二七日	以芳忌	十四日目	
三七日	洒水忌	二十一日目	
四七日	阿経忌	二十八日目	
五七日	小練忌	三十五日目	それぞれ、あらたまつた法要は行わないことが多いですが、墓参など身内だけで行う場合が多いでしょう。
六七日	壇弘忌	四十二日目	
七七(忌明け)	大練忌	四十九日目	一般にはこの日が忌明けとなり、親族・知人を招いて法要を行います。葬儀から安置していた白木のお位牌を黒塗りのお位牌に変え、その際には位牌点眼が必要となります。新しく仏壇を設置された場合にも同様です。跡祈念札、神棚封じもお焚き上げします。詳しくはお寺へご相談下さい。(法名は石碑にはまだ刻みません)
百日(喪明け)	卒哭忌	百日目	墓地(墓石)にお祀りしてある白木位牌をお寺へ納め、法名を石碑に刻み読経をいただきます。
一年目	小祥忌	一年目	喪明けとなります。親族・知人を招いて法要を行います。故人の正當命日か、それ以前に法要を行います。